
	<p>～ねりまフォーラム2013 男女共同参画の集い～ 新井満さんの講演会を開催 『千の風から希望の木へ』 ～生とは何か？死とは何か？いのちの不思議について語り合う～』</p>	
とき	11月9日(土) 午後2時～4時	
ところ	区立生涯学習センターホール(豊玉北 6-8-1)	
<p>9日、区立生涯学習センターにおいて、芥川賞作家であり、東日本大震災による津波の中で残った一本松をテーマにした「希望の木」の著者、「千の風になって」の訳詩・作曲家の新井満さんを迎え、講演会が開催された。</p> <p>講演会の開催にあたり、ねりまフォーラム2013 実行委員長の山崎祐美子さんは、「このねりまフォーラムを通じ、一人ひとりの個性を尊重し、男女共同参画社会の実現について考えていただきたい」と挨拶した。</p> <p>講演会では男女がともに命を輝かせて生きることをテーマに、講演のほか、朗読や歌唱のパフォーマンスもあり、およそ300人の観客は楽しみつつ深く聞き入り、充実感に満たされた様子であった。</p>		 <p>会場の様子</p>

【ねりまフォーラム】

ねりまフォーラムとは、公募区民による実行委員会が実施する「ねりまフォーラム2013 男女共同参画の集い」として、毎年多くの方に男女共同参画社会の実現について考えてもらうことを目的に開催されるもので、今年で23回目になる。企画運営は、第8回目より公募区民による実行委員会が実施している。

今年の実行委員会では、「男女がともに命を輝かせて生きる」ことをテーマに講師選定を行い、「いのちのバトン」や「千の風になって」など、生と死について語り続けている新井満さんをお願いすることとなった。

【新井満さんのプロフィール】

作家、作詞作曲家、画家、写真家、長野冬季オリンピック開閉式イメージ監督など、多方面で活躍中。

1946年新潟市生まれ、上智大学法学部卒業後、電通に入社。在職中はチーフプロデューサーを務めた。

小説家として、1988年『尋ね人の時間』（文芸春秋社）で芥川賞を受賞。2003年11月に発表した写真詩集『千の風になって』（講談社、朝日新聞出版）と、それに曲をつけ自ら歌唱したCD『千の風になって』（ポニーキャニオン）は現在もロングセラーを続けている。同曲で2007年レコード大賞を受賞。著書多数。CD多数。近著『希望の木』（大和出版）、『自由訳 方丈記』（デコ）